５つの森林活動

みなさまの参加を
お待ちしております

小手澤の森

第１・３日曜日

知足の森

第１・３日曜日

相模湖・嵐山の森
小原本陣の森
草莽荘の森
不定期活動

News Letter

NPO法人緑のダム北相模
midorinodam.jp

No.576-577
ShopBot Desktop MAXが稼働しています

【定例活動報告】
ShopBotクラファンご支援のお礼

私、本会に参加する中学生が所属している東京学芸大学のプロジェクトExplayground事業で昨年7月に実施しておりました、クラウドファンディング「ShopBot で森をいかす！コロナ禍の中高生に力を貸してください」は無事に目標額に達成し、8月末に学芸大学若草研究室に設置されました。その後、試運転を重ね、基本的な作業はできるところまで技術習得が進んでおります。中学生も試し彫りのようなことを始めています。本会からもご支援いただき、ありがとうございました。様々な試作品を作っておりま

緑のダム北相模は相模原市内で活動する森林ボランティアです。急がず、無理せず、楽しく、休まず、 ボチボチと・・。

すが当面は本会の間伐材を活用して作業が進められております。ShopBotというのはCNC（Computer Numerical Control）ルーターの製品の一つで様々なビット（ドリルの刃）を選びながら、デジタルデータに基づきXYZ軸の動きで木材を彫ることができる装置です。まずは練習を兼ねてクラファン返礼品である看板（字を彫るタイプ、浮かすタイプ）に取り組んでいます。意外に真四角の積み木が難しいです。全く同じ大きさのものが次々と作られていくのはさすがデジタル、と思う反面、板の厚さがあるとビットが折れてしまったりします。などなどこの製品ならではの面白さがありつつ、ミリ単位での精度に驚いたりと、中学生と楽しく作業させていただいております。

宮村　連理（本会、副理事長）

【定例活動報告】知足の森

今日は新年最初の活動でした。今日の作業現場は長福寺の裏の山でした。チームで木を切ったのですが、なかなか木が倒れず大変でしたが、チーム全員で協力して切り倒すことが出来ました。切り倒した木は、枝をはらい落していくつかの丸太に切り分けました。切り分けるときに、のこぎりが切り口に挟まり、スムーズに切ることが出来ませんでした。切り分けた丸太はその場で束ね、そのあと軽トラに積みました。丸太は想像以上に重かったです。丸太を運ぶ時、坂道を通るので移動は楽でしたが、同時に曲がり角が多く、丸太の向きを変えるのが大変でしたが、丸太を持ち上げる角度を変えたり、スリングなどの道具を使ったりと工夫をし、軽トラまで運ぶことが出来ました。その後も丸太を2，3本運びました。3人がかりで運んだため、スムーズに運べました。途中から小雨が降り始めたため、雨が強くなる前に作業を終わらせ、今日は少しはやめに解散しました。今年も生徒や先生の皆さんとたくさん活動出来たらうれしいです。

荒川　航栄（中学１年生男子）

今日はコンテナにある木が不足していたため、新しく板にするための丸太集めを行った。私のグループが切った木はいつも切っているような木よりも一回りか二回り大きく、その上倒したい方向とは逆の方向に反っていたため、追い口と受け口をつくるのもロープを引っ張って木を倒すのもいつもより大変だった。けれど、木を倒す際に枝に引っかかって苦戦することもなくすぐに倒れたため嬉しかった。また、先輩が作った追い口が真っ直ぐで綺麗だったためすごいと思った。

木を切り終わった後は丸太を切ってトラックまで運んでいった。いつもより太い分、重みもかなりあり終わる頃にはへとへとになっていたが全て運び切った後はとても達成感があり満足した。

今回は新年初めての活動だったため、改めて森の神様に挨拶をした。今年も怪我なく楽しく、そしてたくさんの学びを得ながら森の活動を続けていきたい。また、この活動を設立し自然にふれる楽しさを教えてくれたNPO法人の方々にも改めて感謝したい。

GREEN TECH ENGINEER LAB
中学１年生女子

桜井尚武の森のコラム

「クスノキ（*Cinnamonum camphora*）」

図1　クスノキの葉とダニ室

20090424新林公園藤沢

クスノキ科の樹高20m以上直径2m以上になる常緑の大高木。葉は互生し6～10㎝位、全縁で主脈とその脇の2本の側脈が目立つ特徴のある形を示します。脈が3本目立って走るため3行脈と言い慣わしていて他の樹種にもしばしば見られます。この３行脈の出発点の基部に膨らみが見られますがこれがクスノキの特徴でもあります。この膨らみはクスノキが自主的に用意するフシダニの住居だという説がありますが私には詳しいことは解りません(図1)。

日本では一番大きくなる木として知られています。この大きいとは、材木量が大きいという意味です。環境庁(当時)が平成元(1989)年に行った緑の国勢調査で上位10本中の9本がクスノキでした。一番は鹿児島県姶良市にある蒲生の大楠と言われる胸高位置の幹周囲が24.2mのもので、蒲生八幡神社がお祀りをしています。

クスノキの分布は関東地方以西とされ、朝鮮(済州島）、中国、ベトナムにも分布します。本種は固有種ではなくその広い有用性のため古くから植樹で広められたのではないかという見解があります。その理由として遺物が沖積層(完新世)以降のみに出現すること、人里近くや街路樹、公園等にはごく普通ですが、自然林の中には先ず見られないこと、種子の発芽は容易で鳥などにより広く運ばれると思われるのに自然林域には滅多にみられないからというものです。でも、街路樹や公園樹、寺社林などでは他を凌駕して旺盛な生育をしているのを見ることができます。

図2　落葉前の赤い葉

20190403南千住汐入公園

図3　クスノキ新芽

20220407南千住汐入公園

この樹種は葉、枝、幹、根と全体に香気を含みます。この香気が樟脳でこの成分は防虫剤として化学合成物に取って代わられるまで広く使われました。また精製したものが強心剤のカンフル剤として使われたそうです。

赤色で萌した新芽が春になるとまた赤色になって落葉します(図2)。同時に新しい芽が勢い良く伸びるのを観察できます(図3)。

材の見かけの気乾比重は0.52程度と広葉樹の中では軽い方で造作性は良好、旧くは仏像などの材料にされました。また見事な杢を呈します(図4)。日本書紀ではスサノオノミコトが顎の毛で作ったスギと眉の毛で作ったクスノキで船を作ろうと言ったとされるように、特別の扱いを受けた樹種であったことがわかります。

図4　クスノキの杢

20151030森林総合研究所玄関

桜井　尚武（本会、会員）

【活動報告】

相模原市小学校教員研修講師を務めました

相模原市立博物館にて、市内小学校社会の先生方を対象に、森のボードゲーム「きこりものがたり」を使った研修会を実施しました。このゲームは、ボード上に木を植え、育てて利益を上げていくゲームです。その過程で災害が起こって木が枯れてしまったり、値段が下がってしまって売っても儲からないので放置してしまう、という日本の森、林業がたどってきた道を追体験できる、というものです。これをきっかけに小学校の授業で採用いただき、森の学習をするときに、自分たちも森と関わらないと、解決していきたい、という気持ちを持ってもらえたらと考えています。

５、６チームに分かれて先生方にも挑戦いただきましたが、やはりどのチームも利益を上げられず、しかし、その仕組みが戦後の値段の推移とリンクしていることを聞いて納得のご様子でした。やはり、全力で儲けにかかっても、どう頑張っても、気づいたら赤字に、放置してしまう方向に、というゲーム性の高さに驚かれていたようです。このゲームは本会監修でゲーム会社tanQさんとExplaygroundで制作しました。3月1日の国土緑化推進機構緑の少年団全国セミナーにてご紹介もしますのでそちらもぜひご参加ください。　　宮村　連理（本会、副理事長）

「森林環境教育･森林ESD」「緑の少年団」推進全国セミナー2023についてはこちらのQRコードから

参加にあたって：

初参加者は、9時15分までにJR相模湖駅前に集合です。服装、持ち物については、汚れても良い服装、着替え、滑らない靴　成るべく皮製手袋、万一の怪我に備えて保険証、飲料水、主食、昼食

危機管理・救急対応：

危険管理・救急体制・森林ボランテイア保険の準備の他、会として可能な限りの体制を敷いていますが「怪我・事故は、自己責任」です。

NPO法人
緑のダム北相模

名称：特定非営利活動法人　緑のダム北相模
現地事務局：〒252-0172　相模原市緑区与瀬本町12　かどや食堂内
支援団体：セブン-イレブン記念財団
積水ハウスマッチングプログラム、国土緑化推進機構
コンサベーション・アライアンス・ジャパン
協働団体：神奈川県、相模原市、麻布大学、マルモ出版、
東京学芸大学環境教育研究センター、
（社）東京学芸大EXPLAYGROUND推進機構、
（社）さがみ湖 森・モノづくり研究所、ウッドバンク㈱

緑の募金　一般財団法人 セブン-イレブン記念財団　SEKISUI HOUSE MATCHING PROGRAM　CAJ Conservation Alliance Japan 一般社団法人 コンサベーション・アライアンス・ジャパン